

今年も示した日本一の貫録

積極的な海外移住対策の成果

ブラジル等への海外移住は、昭和十七年に再開されたが、熊本県では特に海外移住に対する理解と熱意が高く移住者数において二十七年以来ずっと日本一の記録を保持してきています。



（壮行会場にて）中南米への壮途につく人々

県では優秀な移住者を、数多く送り出すという基本方針で、今年には特に新しい対策を講じ、昨年までは熊本海外協会と県で行っていた移住業務の窓口を県事務所と各町村にまでひろげたり移住希望者の登録制を新しく実施したり、或は又、三市一〇町一三カ村におよぶ海外移住モデル市町村を選定して啓発宣伝を行い、又コーヒー園の雇傭労働者の移住講習会を開くなど、移住対策積極化の一年でした。

今年の移住成績をみると、ブラジル六三家族（四四一名）をトップに、パラグアイ一四家族（九三名）、ポリビア九家族（五五名）、ドミニカ五家族（二名）、合計九一家族（六一一名）の多きにのぼり、昨年の八五家族（五三〇名）をずっと上廻つて、相変わらず今年も日本一の貫録を示しました。

各市町村に強く呼びかけてきましたが、その実績はめざましいものがありました。つまり、十一月現在では、町村で五三〇、各地区の場合殆んど本年中には結成を完了しようとして居り、明年三月には一〇〇〇結成が予測されています。

この市町村社会福祉協議会が各市町村各地区毎にもれなく組織されることにより、社会福祉活動も、真にその使命が県民の身近なものとして生きて行くのであり、明年度の組織的な活動が大いに期待される所です。

県の売春防止対策は

婦人の権利と幸福を守る運動の結果として、四月から実施された売春防止法は、この法律の注視を浴びましたが、八月には、この法律の明年四月から全面実施という政府の確認により売春防止対策は、いよいよ本格化されました。

県では、すでに八月から、社会課の中に婦人相談所を設置し、専任職員三名、他に婦人相談員を県に二名、熊本市二名八代市二名と、夫々配置され、転落婦人や、転落のおそれのある婦人のための身上相談や、更生保護対策が開始されました。

さらに、九月には婦人団体、民生委員、県会議員、社会福祉関係や、その他関係機関の代表を広く網羅した売春防止対策協議会が結成され、この組織的な協力体制を背景に、県の売春防止対策はより活潑なものとなつてきています。

現在まで婦人相談所や市町村相談員で取扱つた件数は、五十四件となつていますが、目下新築を急いでいる婦人相談所と

文化面二つの話題

県立図書館 — 明年十一月には竣工 —

戦災で焼失した県立熊本図書館の再建については、その敷地選定が世論の焦点となり、二、三の候補地をめぐつて論議沸騰しましたが、結局、千葉城町の旧世話課の建物跡に建設されることで終止符をうちました。

総工費一億一、四八五万円の宏壮な館舎は昭和三十三年十一月完成をめぐり、目下着々工事を進めています。

近く熊本に美術館

九州第二の人口を擁する熊本市に、美

術館のないのは文化都市をめぐす市民の恥だと、年来有志の間に計画が進められていたが、県市でも大いに力こぶを入れ橋爪清人、福田源蔵、海老原喜之助氏その他数名の基本構想委員も出来て、い

よく本格的なプランが具体化に近づいています。この計画については、美術蒐集家で知られる旧藩主細川護立侯も全面的に賛意を表しており、陳列には侯の愛蔵する東西の新古美術の逸品だけでも、躍目に値するものがあるかと評判になっています。

新広報車登場

県の広報車「くまもと号」が老朽しましたので、十月から新鋭車りんどう号がこれに代つて登場しました。手はじめに阿蘇文化キャラバンのトップを承り、大いに活躍ぶりを示しました。

つい最近各郡町村の産業祭などにも出動して大変喜ばれています。りんどう号は拡声装置、テープレコーダー、映写機、幻灯機、発電機の外十七インチのテレビも設けています。

文化キャラバン

阿蘇高原を行く

去年の夏催された天草文化船の好成績にかんがみ、今年十一月十四日から六日間阿蘇山東部から小国へかけて、文化キャラバンが送り出されました。主催は昨年同様県とNHK、内容もほぼ去年同様のものですが、交通不便で文化の恵みとほしい農村部では、とくに大歓迎を受け、予想以上の成果を収めました。

読まねば損をする事

税金のことといえば、もうこの先はお読みにならないかもしませんが、もう少し先まで読んでごらん下さい。

所得税二期分をまだ納めていない方はすぐお納め下さい。

今年七月に一期分を納めた方は、十一月中に一期と同じ額を納めなければなりませんでしたが、まだ納めていない方には、十二月一日から毎日「利子税」がついており、督促をうけると、更に「延滞加算税」も負担しなければならなくなつて大変損をされます。

どうしても納められない方は、実情にあつた徴収猶予の制度もありますから、今すぐ税務署へ御相談下さい。

（熊本税務署）

二七税務署員にご注意

最近玉名郡玉東村の石灰製造業上田義雄さん方に税務署員と称する二人づれの男が訪れて、「税務特報」という雑誌の購読をすすめ、月ぎめ二五〇円、年間なら三、〇〇〇円の前金を要求した事実がありました。幸い上田さんは断りましたので被害はありませんでしたが、この二人はあらかじめ、熊本県総務部長と熊本県玉名事務所税務課長の名刺を相手に見せて信用させる方法をとっており、又、税務署では前金をとつて印刷物を売りつけるような事は全くありませんので、御注意下さい。

二人づれの男のうち一人は面長で色白く黒の背広、他は色黒く、コゲ茶の背広で二人とも三十二才位。

発見次第最寄りの派出所、県事務所又は税務署へ御連絡下さい。

9月27日	第四回消防大会
9月16日	訪中経済文化視察団歓迎会
9月16日	県宮藤本発電所売電協定調印式
9月21日	中南米移住壮行会 農試園・園芸指導所起工式（鏡町）
9月22日	農機具展示会
9月26日	九月県議会開会
10月5日	阿蘇登山道路竣工式
10月7日	十九回畜産共進会
10月8日	県有林五〇周年記念木材せり市
10月14日	阿蘇高原をゆく文化キャラバン出発
10月21日	水稲早期栽培栽培作大会
10月21日	県衛生部長国連食糧農業機構会議（於ローマ）出席のため出発
11月3日	県有林五〇周年記念式典
11月25日	文化の日・各種表彰式
11月25日	新任土木部長着任
11月25日	横山教育長外遊壮行会
11月25日	高松宮来庁
11月25日	熊本県社会福祉大会
11月25日	農協講習所落成式
11月25日	ブラジルコーヒー園雇傭移住者講習会開始（12月31日サンパウロ向け神戸出帆予定）
12月5日	新生活運動協議会委員会
12月15日	不知火干拓期成会発足
12月15日	県議会八〇周年記念式典
12月15日	水俣港拡張起工式

貧しい人々に あたくしを

歳末助けあい運動12月1日→31日

- ★ 木枯しが吹きすさぶ師走がやってきました。
- ★ 街はクリスマスや正月を迎えるために大へんな賑わいです。
- ★ 貧しい人々も温い正月を迎えることができますように、今年もまたあたくしを、助けあつてゆきましょう。

★ 去年はおかげで次のように沢山の浄財や品物が贈られました。

★ 寄附金	4,039,175円
★ 衣料	21,499点
★ 米	4斗5升
★ チ	3,269石点
★ その他	数千点